

2017 ティーボール東南村山地区大会実施要綱

1. 主 催

山形県野球スポーツ少年団協議会東南村山支部

2. 協 力

日本ティーボール協会山形県連盟

3. 開催日時

平成 29 年 5 月 20 日（土）・21 日（日）・27 日（土）28 日（日）

（ブロック毎に 5 月 28 日までに各小学校グラウンド等で実施し、各ブロックの枠番の一番早いチームが結果を普及委員会へメールで報告）

4. 会 場

西部運動広場 2 コートで実施（駐車場側 A コート）・・・20・21 日使用可

5. チーム編成

- (1) 小学 1～4 年生の男女 10 名以上で編成されたチームとし選手の入団・未入団は不問とする。また、10 名に満たない場合は他の団との合同チームも認める。
- (2) **スポーツ保険には全選手が必ず加入すること。**
- (3) ベンチ入りは、指導者 3 名以内、選手登録 25 名以内（全員参加を原則）。

6. 表 彰

各ブロックの 1 位のチームには賞状を授与する。

成績上位 10 チームと補欠 2 チームを 7 月 1 日開催の「第 11 回 山形県小学生ティーボール大会」に推薦。

(推薦条件・・・7/1 と 7/2 両日共に大会へ出場ができるチーム)

【順位の決定方法】 勝ち：2 点 引き分け：1 点 負け：0 点

各ブロック 1 位・・・県大会へ推薦

各ブロック 2 位以下のチームで勝ち点が高い上位チームから 8～10 位を決める。

勝ち点が高同点の場合は得点計の高いチームを上位とする。それでも同点の場合は失点計の少ないチームを上位とする。

7. 競技方法

3 イニング制で 2 試合実施。（必ず 3 回裏まで実施）

対戦表は別紙とする。

8. 競技規則

日本ティーボール協会のオフィシャル・ルールに準じますが、一部大会特別ルールを採用します。

- (1) 塁間は16mとする。(両翼は40m以内とし、ネットフェンスを設置)
- (2) 使用球は、ケンコーティーボール11インチゴムとし、グラブを使用すること。
- (3) 金属スパイクは禁止。
- (4) 競技者は10名で、全員打撃制(1インニングの攻撃で、1番打者から10番打者までが必ず打ちその得点を競う。アウト数は関係なし、最大3スイング。残塁は次回に継続する。)
- (5) 打つ前に走者が離塁すればアウト。スライディングや危険行為も原則アウトですが、できる限り「注意」にとどめ、審判が状況で判断します。
- (6) バント・軽打は禁止(ストライクと判断)、ファールも3スイングでアウト
- (7) プレーが一段落(内野か本塁にボールが帰った時)したと審判が判断した時、「タイム」が入り、ボールをティーに戻し審判の「プレイ」のコールをもって再開する。
- (8) 上着は同色、同意匠(帽子・ズボン・スパイクは自由、ズックでも良い)が原則ですが、初参加の児童も多くこだわりません。(背番号は打順で1~10までを、ビブスカひも付きゼッケンを着用してください)
- (9) 打つ場合に軸足のステップを禁止する。球審は軸足がステップして打ったと判断した場合はファールとする。
- (10) 危険行為の禁止を徹底する。(審判・理事が監督へ注意)
- (11) コーチャーは無しとします。またベンチ外からの選手への指示なども禁止します。
- (12) メンバー表は不要とし、試合開始の挨拶時にじゃんけんにて先攻後攻を決める。
- (13) ベンチは枠番の小さいチームが1塁側を原則とする。
- (14) 試合開始前・インニングごとのボール回しなどはせず、すぐに試合開始する。

9. 審判員

3審制で行い、服装は他大会に順ずる。(白シャツ・黒/紺系ズボン)

審判帽はティーボール用(赤)が望ましいが無い場合は、他大会で使用の審判帽を着用すること。

4チームのブロックは、試合をしていないチームが担当し枠番の早いチームが球審・記録係、遅いチームが1・3塁審を担当する。

3チームのブロックでは、試合をしていないチームが球審・記録係、当該試合の枠番の早いチームから1塁審、遅いチームが3塁審を担当する。

山形県野球スポーツ少年団協議会
東南村山支部普及委員会